



年頭のご挨拶

商業部会長 和田 晋弥

新年あけましておめでとうございます。

さて、昨年10月に消費税が引き上げられました。景気への影響が懸念されていましたが、増税前の駆け込み購買や増税後の買い控えなどはそれほど大きく目立っておらず、消費者は冷静に対応しているといえるのではないのでしょうか。消費者の動向で申せば、消費増税にあわせて始まったキャッシュレス決済のポイント還元制度を追い風に、現金を使わない決済が増していると報じられています。

商業者を取り巻く環境は大きな転換期を迎えているといっても過言ではありませんが、このような時代だからこそ変化を力強く乗り越えていかねばなりません。

商業部会として、皆様のお役に立てるよう、引き続き時宜にかなった部会活動を展開してまいります。本年も何卒宜しく願い申し上げます。



新しい年の始まりに

工業部会長 小田嶋 壽信

新年あけましておめでとうございます。

昨年、新しい元号が施行されました。本年は新しい元号で最初の新年を迎えることとなりました。世界を見ると政治的、経済的にも情勢が大きく動いています。

長年、日本はモノづくりで世界トップと言われてきましたが、最近は大きく陰りが出ています。それを象徴する訳ではないとは思いますが、本工業部会も会員企業数が徐々に減少してきています。経済・産業の基盤となるモノづくりが活躍しなければ良い社会循環が生まれません。雇用創出、所得向上、納税額増加など新潟が発展していくために基盤産業の一つである工業の躍進を目指し、工業部会は相互交流など様々な施策を通じ今後の躍進に繋げていきたいと考えております。

本年もよろしく願い申し上げます。



古町再生の足掛かりに

建設・不動産部会長 本間 達郎

皆様、新年あけましておめでとうございます。

2020年は東京オリパラ開催の歴史的な一年となりますが、新潟では古町に新しい顔が誕生いたします。

80年の長きに渡って新潟の中心街のシンボルであった大和デパート。その跡地の古町通7番町地区に、今年の春いよいよ『古町フル』がオープンいたします。

盆踊りの中心にある櫓をモチーフとした外観デザイン、オフィス・店舗・教育等の機能が一体となった複合施設により街区は一新されます。計画中の広場と併せ、新たな賑わいの場となることを期待してやみません。

当部会ではこれからも施設整備や土地の有効活用を通じ、街づくりと地域の活性化をお手伝いしていく所存です。

本年もよろしく願い申し上げます。



桜と萬代橋



年頭ご挨拶

金融業部会長 並木 富士雄

新年あけましておめでとうございます。

新春を迎え、会員の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

国内景気は緩やかな回復が続いていますが、今後は海外経済や消費増税の影響などに留意していく必要があります。

政府は、2020年度からの第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、「Society5.0の実現に向けた技術の活用」、「SDGsを原動力とした地方創生」などに重点を置いた施策を推進するとしています。

私も金融機関といたしましても、コンサルティング機能を発揮し、県内企業の皆様のデジタル技術を活用した生産性の向上や、SDGsの取組みへのご支援などを通じ、地域経済の発展に貢献することを目指してまいります。

本年も何卒よろしく願い申し上げます。



『陸海空旅客・貨物輸送』の活性化に向けて

輸送業部会長 高橋 哲哉

新年あけましておめでとうございます。

昨年度は、「クルーズ船の経済効果」や「新潟貨物ターミナル駅での貨物輸送の現状」などについて講習会を開催し、港湾・空港といった輸送拠点の動向について研修するとともに、視察見学では、『東京モーターショー』に出向いて、次世代自動車の先端技術はもとより、各自動車メーカーが描いている“未来の暮らしや未来構想”について学びました。

今年度も、部会員の事業環境に影響を与えるような国の施策や“Maas”といわれる各種交通手段を連携させる次世代移動サービス、IoTやAIを駆使した最先端輸送技術など、トレンドを踏まえて、陸・海・空の旅客・貨物輸送それぞれの視点で時宜にかなったテーマを取りあげていきたいと考えています。

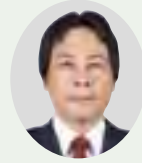
部会員をはじめ皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。



2020年の年頭に当たって

観光業部会長 星野 佳人

新年あけましておめでとうございます。
昨年日本ではラグビーW杯が開催され、多くの外国人観光客が日本を訪れました。一方新潟では、新潟開港150周年記念事業が開催され、新潟をアピールする機会に恵まれた一年でもありました。今年はいよいよ、東京オリンピックの開催により、より多くの外国人観光客の訪日が見込まれます。この好機を捉え、新潟独自の食・文化・自然の情報発信に加え、周遊観光や二次交通の強化等、受入態勢の整備について官民一体で取り組んでいきたいと思います。また、悲願である「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」の世界遺産登録については、今年こそ国内推薦を得る大きなチャンスであり、当部会としても引き続き登録実現に向けて取り組んでまいります。本年もよろしくお願ひします。



新部会長としての抱負

情報・サービス業部会長 梅津 雅之

あけましておめでとうございます。情報・サービス業部会は約1,000社が所属しており、全体の2割近くを占める部会です。当部会では情報産業からビルメンテナンス、警備、土業、理美容等のサービス業まで幅広い業種で構成されています。それだけに多種多様なビジネスモデルが存在し、お客様にかかわっていく上で数多くの課題があると思ひます。業界を取り巻く環境が変化する中で、課題解決に向けた情報交換や専門家による講演会、セミナーを実施して参ります。また先進地への視察や見学を通して経営のヒントをつかんだり、情報交換につなげていきたいと思ひます。さらに今後は異業種間の交流を広げるといふ意味でも、他の部会との合同視察などを実施できればと思ひてお願ひします。今年も是非多くの皆様から部会事業への積極的な参画・参加をお願ひいたします。



年頭にあって

教育福祉医療部会長 渡邊 毅

あけましておめでとうございます。
昨年より『令和』という新しい年号が始まり、早くもその2年目を迎えることとなりました。当部会では会員皆様の一層の発展と充実の一助となることを期し、今年も様々な企画に取り組む心算です。
少子高齢化が本格化し、切実な問題が様々発生しています。教育・福祉・医療に関しても、個々の人間に誠実に寄り添うことと、企業体としての安定・前進を図ることの双方の実現は必ずしも容易ではありません。これは不変であると同時に、方向性の見えにくい現代ゆえにいっそう深刻な課題とも言えるでしょう。
今年も皆様と共に研鑽を積んでいきたいと思ひてお願ひします。宜しくお願ひ致します。



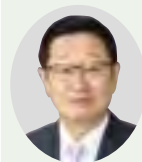
白鳥舞う鳥屋野潟とビッグスワン



年頭に寄せて

女性会会長 竹林 昭代

新年あけましておめでとうございます。
新潟女性会も19年目を迎え、現在の会員は108名となりました。今年もより一層充実した事業で魅力ある女性会を目指したいと存じます。昨年は、東京商工会議所女性会との懇談会をはじめ、全国商工会議所女性会連合会鹿兒島全国大会に参加するなど各地の女性経営者との交流を深め、ネットワークの拡大に努めてまいりました。女性会の全国大会が今年も倉敷、来年は福島での開催が決定しており、今後は新潟での全国大会開催の実現に向けて力を入れていかなければならないと思ひてお願ひします。
変化の激しい社会の流れに対応していきながら、地域の明るい未来を切り開くべく、会員一同研鑽を怠らず女性ならではのしなやかさと行動力で前進してまいります。本年もどうぞ宜しくお願ひいたします。



社会構造の激変に対応するお手伝い

総務委員長 吉田 徳治

あけましておめでとうございます。
さて、我々を取り巻く社会は激変の真ただ中にあります。ITの加速度的な進化により、あらゆることのスピード感が過去とは比較になりません。商売の決済のやり方、情報伝達方法も多様化しています。B to Cで一例をあげますと、スマートフォンでの電子マネー決済等が当たり前になってきています。対応が遅れたり、対応できないなどと言っていますと、お客様から選ばれない企業になりかねません。
商工会議所の役目として会員各社の経営に役立つ情報提供を積極的に行っていくことが非常に重要と考えています。今後ともよろしくお願ひします。

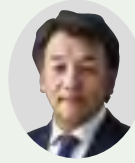


5000会員をめざして

パワーアップ5000推進委員長 池田 洋子

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には「会員増強」への取り組みにいつも変わらぬご協力をいただいていますことに当委員会一同御礼申し上げます。お陰様で毎年、会員数は増加しています。商工会議所は唯一の地域経済団体です。先を見据えた新潟の繁栄を願う部会や委員会での地域の中小企業者としての意見や提言は貴重です。8つの部会では正副部会長さんがその部会の職種に必要な研修会や視察会を積極的に開催しています。新年の名刺交換会や会員大会では多くの会員の方が出席され有意義な交流をされています。商工会議所の活動を強化する意味でも会員増強は重要です。

何よりも商工会議所は個々の事業を応援しています。沢山のメリットがあります。当委員会は本年も5000会員をめざして頑張りますので、どうぞ会員の皆様も変わらぬご協力をよろしく願います。



中小企業等の成長に向けて

企業経営委員長 木山 光

新年あけましておめでとうございます。当委員会は中小企業・小規模事業者の経営に直接影響する税制改正や中小企業政策について議論し、提言を取りまとめ、日本商工会議所を通じて政府や関係機関に要望しております。一昨年事業承継税制が大幅に見直され、期待された内容に一步近づいたものの、引き続きより活用しやすい税制となるべく議論と要望を継続して参ります。今年も、税制については未上場株式会社の評価方法を議論の最優先事項とし、中小企業施策に於いては雇用の維持・確保など企業が直面する経営課題に対する支援施策の充実に向けての要望活動も実施して参ります。

地域経済の基盤である中小企業等の経営基盤を維持し、将来の成長が実現できるよう、引き続き委員会活動に積極的に取り組んで参りますので、本年も何卒宜しくお願い致します。



“オール新潟”での輸出促進に向けて

国際貿易委員長 別府 幸典

新年あけましておめでとうございます。

国際貿易委員会では、これまで新潟県産品の輸出促進に向けて、“オール新潟”(ブランディング)での共同輸出体制構築に関する提言を行い、新潟県や新潟市の関係者などと意見交換を実施してまいりました。

当所でも、昨年、関係団体・企業等と連携して台湾での商談会や物産展を実施しました。

今年度も、「新潟港や新潟空港の活性化」を踏まえ、中小・小規模事業者の海外への販路開拓、輸出入取引を拡大させるため、引き続き“オール新潟”の体制構築に向けて、推進を図っていきたく思います。

新潟の魅力ある食が世界で広く認知され、各業界が連携を深めることにより、インバウンドにも影響を与えることができるような仕組みづくりに貢献してまいります。ご協力をよろしくお願いいたします。



つつじ咲く旧新潟税関庁舎



新潟のまちの発展に向けて

まちづくり委員長 阿部 正喜

新年あけましておめでとうございます。

さて、昨秋はラグビーW杯日本大会の興奮に酔いしれましたが、いよいよ今夏には、2020年東京オリンピックパラリンピックが開催されます。各国を代表するアスリート達の熱戦が今から楽しみであると同時に、経済効果が東京から溢れ出るように各地に波及し、日本全国が活性化することを期待しています。

訪日外国人数は空前の規模になることが予想され、地方都市にとっても大きなチャンスといえますが、座して待つだけではインバウンド市場から取り残されるばかりですので、選ばれるまちになるために行動しなければなりません。

当委員会といたしましても、行政や関係機関とも手を取り合い、官民一体の「ワンチーム」でまちづくりに取り組み、新潟のまちの発展に向けて精力的に活動してまいります。

本年も何卒宜しくお願いいたします。



新潟経済の活性化に向けて

政策委員長 柴山 圭一

新年あけましておめでとうございます。

これまで当委員会を含めて各委員会では様々な分野で要望や提言活動を行ってまいりましたが、昨年、当委員会では、次期研究テーマを選定するにあたり、提出した要望や提言項目がどれぐらい行政施策に反映されているかを、県や市の「総合計画」に基づいて照らし合わせを行い、併せて今年度の新潟市施策・取組内容等について意見交換を行いました。

今後、研究テーマを検討していくにあたり、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の改訂が予定されています。国が「Society 5.0」を提唱しておりますので、そうした内容も踏まえて、時宜に合ったテーマを選定し、交流・定住人口拡大と新潟経済の活性化に向けて事業を推進してまいります。